



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日: 毎週水曜日 PM12:30~
 例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局: 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel: 044-277-7569 Fax: 044-288-8550
 URL: <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 牛山 裕子
 副会長 須山 文夫
 幹事 水口 衛
 SAA 松本 和晃

第2115回（本年度 第16回）例会 平成28年10月26日 一晴一

●司会 松本 和晃 SAA

●点鐘 牛山裕子会長



●斉唱 「それでこそロータリー」
 伊藤 佳子ソングリーダー

卓話者のご紹介 牛山裕子会長

川崎市内高等学校 定時制 教育振興会から教頭先生4名、生徒さん2名おいでいただいております。卓話を楽しみにしております。よろしくどうぞお願いします。

来訪ロータリアンのご紹介 須山 文夫副会長

川崎中央RC 木村教義様

会長報告 牛山 裕子会長

①皆様のポストに神奈川フィルハーモニーの公演案内が入っていたと思います。急な話ですが今月28日です。場所はミュージア川崎シンフォニーホールです。S席6,000円を3,000円です。もし行ってくる方があれば、ご協力お願いできればと思います。

②先週、職場訪問をして懇親会をいたしました。その際に大変お世話になったANAサービス代表取締役社長 白水政治さんから写真とメールを頂きました。かえってこちらがご迷惑、お世話になりました。私からお詫び状と感謝状をお出ししておきました。

③来週、11月2日ガバナー補佐訪問です。来週はこの部屋を使えませんが金剛閣の方になります。各委員長、特に理事の方は必ず年初に作成をした活動計画書をお持ちになって一人一人がガバナーにご説明をしていただかなくてはなりません。御出席をお願いします。万が一御出席できない場合には必ず代理を立ててください。今週中に欠席は事務局にご連絡を頂きたいと思いますがお知らせとお願いが出ていますのでそれを御熟読いただきまして、ご判断をお願いしたいと思います。



幹事報告

水口 衛幹事



・11月の予定 掲示板に貼りだしてあります。ご確認をお願いします。

・ファイアーサイドミーティングが昨日、火曜日から始まっております。あと2グループありますので、自分が出席されるファイアーサイドミーティングには必ず各自が出席をいただきますようよろしくお願いいたします。

・11月12日、地区大会があります。
11月9日（11月第2例会）は休会になります。

・川崎大師写経会の案内 回覧しますので出欠をご記入ください。

・他クラブの例会変更 回覧 メイクアップ等にご活用ください。

・来週は会場変更になっています。金剛閣で行ないますのでお間違えの無いようお願いします。

・次週11月2日、理事会がありますが通常理事会とは異なり、11時からあります。
出席義務者の方は金剛閣にお越し頂くようよろしくお願いいたします。

出席報告

石渡 利治出席委員長

| | 会員数 | 対象者 | 出席 | 欠席 | 出席率 |
|--------|--------|-----|-------|--------|--------|
| 2115回 | 58 | 50 | 27 | 23 | 54.00% |
| 2113回 | 58 | 49 | 31 | 18 | 63.26% |
| 前々回の修正 | メイクアップ | 4名 | 修正出席率 | 71.42% | |

メイクアップ

林 鶴会員、細谷重徳会員、渡辺富士夫会員、
小林勇次会員



| | 会員数 | 対象者 | 出席 | 欠席 | 出席率 |
|--------|--------|-----|-------|--------|--------|
| 2114回 | 58 | 49 | 17 | 32 | 34.69% |
| 2112回 | 58 | 49 | 29 | 20 | 59.18% |
| 前々回の修正 | メイクアップ | 3名 | 修正出席率 | 65.30% | |

メイクアップ

林 鶴会員、鈴木昇二会員、坂東保則会員

スマイルレポート（ニコニコボックス）

須山 文夫副会長

川崎中央RC所属 木村教義殿

さわやかな秋晴れとなりました。
皆様のお顔を拝見しにメイクにまいりました。よろしく
お願い申し上げます。

寺尾 巖会員

いい事がありましたので、
又体調が悪くなり、年並との事でした。

宮山光男会員

10月1日付で本山の天台宗中央選挙管理委員に任命されました。（全国で定員5名）。天台宗のトップである宗総長の選挙に関する重要な役職で有ります。これもロータリーの会員の皆様の御支援の賜物と感謝致しております。

竹中裕彦会員

- ①ローターアクトクラブ再稼働会、皆様お疲れ様です。フルパワーで頑張りましょう。
- ②FSMあと2回ありますので全員出席をお願い致します。
- ③明日、草野球神奈川大会参加の皆様、ご迷惑をかけると思いますが宜しくお願い致します。頑張りましょう。

横山俊夫会員

職場訪問担当委員会、素晴らしい経験をありがとうございました。

矢野清久会員

春日山が大変お騒がせしました。

須山文夫副会長

移動例会では、急きょインターアクターを1名呼ばせてもらい、ありがとうございました。

牛山裕子会長

川崎市内高等学校 定時制教育振興会 熊谷先生始め、卓話をお願いしております、皆様、よろしくお願い致します。

本日のニコニコのテーマ

「米田さん・戸塚さんの弁論発表楽しみです。どうぞ宜しくお願いいたします。」

鈴木昇二会員、須釜賢治会員、坂東保則会員
大崎克之会員、石渡勝朗会員、細谷重徳会員
宮沢和徳会員、出井宏樹会員、永松慎太郎会員
岩井茂次会員、中村眞治会員

合計 49,000円

卓話者の紹介 川崎総合科学高等学校 定時制 教頭
熊谷顕太郎様



演題「定時制生徒による弁論と定時制高校および振興会のご紹介」

こんにちは、市内高等学校定時制教育振興会の事務局を担当しております川崎市立川崎総合科学高校定時制教頭の熊谷です。

本日は、このような機会をご提供いただきありがとうございます。

市内定時制教育振興会では行政や企業の皆様のご支援を頂戴し、県立の川崎高校と向の岡工業高校、市立の川崎高校、川崎総合科学高校、商業高校、橘高校、高津高校の7校はスポーツや文化の面の活動を盛んに実施しております。

活動のひとつに定時制生徒による弁論大会があります。本日は9月に実施した大会に参加した生徒より、2名の生徒を連れてまいりました。最初にその生徒の弁論をお聞きください。

その後、教頭会を代表して川崎市立商業高校教頭鈴木より、定時制教育の現状と振興会の活動内容についてご説明を申し上げます。

それでは発表する生徒の所属する教頭より発表する生徒を紹介し始めてまいります。

最初に安斉教頭をお願いします。

弁士紹介

市立川崎高等学校 定時制 教頭 安斉 廉様



弁論 市立川崎高等学校 2年 米田海音様
演題「いなくなるかもしれない」

遊んでばかりの毎日。そんなとき、親から言われる言葉、「今、お兄ちゃんがたいへんなときなのに・・・」私は、この言葉が大キライでした。



兄弟って、毎日、家にいて当たり前です。だからこそウザく感じたり、ときには、「いなくなりゃいいのに」なんて思うこともありますよね。でも、本当にいなくなるかもしれないと思ったら、あなたは どうしますか？

私が、小学5年生のときです。兄に異変が起こり始めました。腰に妙な痛みが続く。これはおかしいと思い、遠くの大きな病院でMRIを撮ってみると、腰の骨が砕けていました。次に見つかった異変は、首のしこりでした。兄は悪性のリンパ腫、いわゆる「ガン」にかかっています。

気がつけば、大好きなお兄ちゃんは入院。私は家にひとりぼっちでした。子どもは病院には入れないのですが、母と兄がいる病院に行ってみます。

「海音！」という声に振り向くと、廊下に兄がいました。もともとふっくらした顔で、たくましい筋肉だった兄ですが、治療の副作用で髪も抜け、からだはやせ細っていました。ここで私が泣いてはいけない、涙をこらえました。

兄は、ドクターストップで、大好きな野球ができなくなりました。辛かっただろうと思います。それでも私の前では笑顔を見せます。

夜になると親が電話で話しています。ケータイから兄の泣いている声が聞こえてきます。兄は、がんばっていました。

中学3年の終わりごろ、兄は退院することができました。高校入試にも合格し、楽しみにしていた高校生活がスタートしました。

ところが、高校2年の夏、兄に再び異変が起きました。再発でした。泣き崩れる親。私は、その姿をぼうぜんとして見ました。

「もう一度、がんばるよ」、とお兄ちゃんのつくる笑顔は、見るのが辛い。苦しむ兄も、精神的に追い詰められている親も、見たくなかった。

それでも必死に病気とたたかった兄。その甲斐あって、ごくたまに、1週間ほどの退院が許されることもありました。

うれしかったです。みんなでゲームをしたり、「病室はおじさんばかりでさあ、すごいオナラをこく奴がいてさあ」なんて、辛いはずの入院生活を面白おかしく話してくれたり・・・。なんだかんだ、いつものお兄ちゃん。家族は大よろこび。

しかし私は、大はしゃぎする家族を冷ややかに見るようになりました。自分ひとりだけ取り残されたようにも感じていました。

それで、お見舞いにも行かず、毎日、遊びまわっていました。「今、お兄ちゃんがたいへんなのに、あなたは何をしているの？」

こう責められて、イライラしていたのはこの頃です。治療の最終手段は、骨の中にある「骨髄」の移植です。移植できる相手が見つからなければ生きられません。私は我に返りました。

移植の相手として可能性が高いのが兄弟です。私は周りから期待されていました。「もうひとりの兄、入海より海音の方が当たりやすい。」「海音がいるから平気。」とかプレッシャーがかかっていた。案の定、一番上の兄、入海は血液の型がひとつもあてはまりません。次は私の検査。ドキドキしながら血を採られます。親が無言で見守ります。「結果は後日、報告します。」いけるんじゃないかって思いました。私が兄を助けられるかもしれない。そして結果発表。

残念ながら、私の血液も型が合っていませんでした。私は泣き崩れました。周りに申し訳ない気持ちで、いっぱいでした。

そして現実味を帯びてくる兄の死。兄の笑顔を見るのが辛かった。

しかし、運命は私たちに味方しました。「骨髄バンク」という団体に登録している人に、兄と血液の型が合う人がいたのです。

みんなよろこびました。そして、移植手術は無事に成功しました。

兄は、2年留年しましたが、高校を卒業し、今は、小学校の先生になるために専門学校に通っています。休みの日には小学生の野球チームのコーチもしています。あまり危ないことはできませんし、今でも週に2回、通院していますが、毎日、いきいきとやっています。

テレビなどで、難病と言われる珍しい病気、重い病気、深刻な事故などを見かけますよね。私も、他人事だと思っていました。

自分には関係ないと。でも、いつ、自分の身に、家族に、降りかかってくるかわかりません。ケンカばかりしている兄弟でも、いざ、いなくなったら泣きます。それを考えると、普段から、家族、大切な人と、一緒にいられる幸せをかみしめながら、今を大事にしなきゃいけないんだな、と思います。失ってからじゃ遅いんです。

ご静聴、ありがとうございました。

弁士紹介

市立高津高等学校 定時制 教頭 黒川保人様



本校、戸塚稀里子さんの弁論「今しかできないこと」は、自身が小学校の途中から中学校卒業まで不登校となり、長い引きこもり生活を経て、「今しか出来ないこと」の大切さに気づき、22歳で高津高校定時制に入学して、「人との関わり」の大切さを意識しながら高校生活を充実したものにしていると言う弁論です。この弁論は、校内の学友達からも深い共感を得て、圧倒的な支持を得ました。また、彼女の語り口のすばらしさをご堪能いただければ幸いです。

私は22歳で高津高校定時制に入学してから、「今しかできないこと」というものを意識しながら過ごしています。部活動では、これまで避けていたスポーツにあえて挑戦してみようとソフトテニス部に入部したり、文化祭や生徒作品展に、自分で撮った写真や、描いたイラストを出展したり、生徒会という責任あるものに立候補し常任委員となったり、様々なことに積極的に挑戦しています。いま私が弁士としてここに立って居るのも「今しかできないこと」だからこそです。

みなさん。皆さんの過去を思い起こしてみてください。小学校、中学校と……楽しく過ごした人も、私のように不登校を経験した人も、何かしらの「やり残し」があるのではないのでしょうか。

定時制での学校生活は、4年間と長く感じるかもしれませんが、しかし、目標もなく、ただなんとなく日々を過ごせば、それはあっという間に過ぎ去ります。年に一度の学校行事も回数にすれば4回と、たったこれだけしかありません。みなさんが卒業し学校生活を振り返ったときに、卒業証書1枚しか残らなかったら寂しくはないでしょうか？

過ぎた日が戻ってくることは、決してありません。ですが、何か行動を起こしたことで得た経験や思い出というのは、あなたの宝となります。そしてその宝というのは、自然にできるものではなく、自分自身で作るものだと思うのです。

経験は自分自身を成長させてくれます。その可能性というのは至る所にあり、何かを始めるとき、あるいは意見を求められたときや、自分という存在を必要とされたとき……。

たとえ小さなことでも、そこには大きな一歩へのチャンスがひっそりと隠れているかもしれません。

たくさんの可能性がある外の世界。その世界のひとつが学校だと思えます。皆さんにとっての学校は、どんなところでしょうか？

学校は学ぶ所です。しかしそれは授業のことだけを指すものではありません。生徒や先生といった様々な年齢や性格の人と関わっていくことで、新たな自分に気づき、ま

弁論 弁論 市立高津高等学校 2年 戸塚稀里子様
演題「今しかできないこと」

皆さんは、日々の生活の中で「今しかできないこと」というものを意識しながら過ごしていますか？

一時間一時間の授業、友人との会話、年に一度の学校行事……。全てのことは、一回限りのものです。まったく同じ経験というのは、当然のことですが繰り返すことができません。日々の中で自分なりの「今しかできないこと」を見つけ、それに真剣に取り組んでみるのが大切だと思います。そしてそれはいつの日か、自分自身にとっての素敵な経験と思い出になるはずです。

私は、小学校の途中から中学卒業まで不登校となり、「学校生活」というものをほとんど経験することがなく、以降、引きこもりという長い時間を過ごしていました。ある時ふと、自分の元には卒業証書とほんのわずかな思い出しか残っておらず、「もう、あの頃に戻ることは出来ないんだ」ということを強く実感しました。そこで初めて私の心に、学校へ行きたい、という思いが芽生えたのです。

た、自分とは異なった考え方をする他人がいるということに気付く。そして今まで見えていなかったものが見えるようになる。さらに、学校行事を通して自分を表現することも出来ます。

たくさんの経験と、様々な感情に触れること。私はそのために学校というものがあるのだと思います。

みなさん。「あの時、ああ言えば良かった」「こうすれば良かった」といった言い残しややり残し。それらの後悔を、あなたの行動力の源に変えることが大切です。決して無駄にはしないで下さい。

「後悔を後悔のまま終わらせない」という気持ちがあれば、残りはあと一步の勇気だけ。手を挙げてたった一言発言するだけでもいい。一度踏み出せばそれが自信となり、行動につながります。そしてその一人の行動は、必ず誰かの心に響きます。あなたのその行動が、また誰かの勇気を生むかもしれません。

先日のリオオリンピックで、日本は41個という史上最多のメダルを獲得しました。その中には、一度引退に追い込まれながらも、自分には「やり残したことがある」と気付き、復活した選手も居ます。私はとても共感しました。

「もし、あの頃に戻ることができたら……」という思いは誰にでもあるかと思います。ですが、私がこの年齢で高校に入学したように、何かを始めるのに遅い、ということは無いです。そして、何かを始めれば「今しかできないこと」というものが在ること。

みなさん、自分自身にとっての「今しかできないこと」とはなにか、一緒に考えましょう。

市立商業高等学校 定時制 教頭 鈴木良男様

わが国の定時制教育はご承知の通り、戦後の高度成長期、勤労青少年に後期中等教育を補償する期間として昭和23年に開始されました。その後まもなく、親元を離れて勤労にそして勉学に励む勤労青少年らの学校における活動をPTAに代わって支援する組織として定時制教育振興協会というものが、全国各地において発足いたしました。ここ川崎市におきましても、当時勤労青少年らの学校における活動をPTAに代わって支援する組織として定時制教育振興会というものが、全国各地において発足いたしました。ここ川崎市におきましても、当時勤労青少年を受け入れていた市内の企業が事務局となって、多くの勤労青少年の活動を支える目的で会を発足いたしました。しかしながら、時代の流れとともに定時制教育も振興会事業も大きく変化してきております。定時制に通う子どもたちは、発足当初のような、昼間は企業で正規社員として勤務し、夜間は定時制で勉学といった生徒は極僅かしかおりません。中学校時代に不登校であった者、何らかの課題を抱えて高校を中途退学し、学びなおしの機会を求める者、生活困窮や保護者の保護能力の欠如から十分

な教育を施されずに義務教育を終えてしまった者など様々な問題をかかえる者たちが多くを占めるようになり、今や定時制高校はそうした者たちの言わば「セーフティネット」のような役割を担うようになりました。振興会事業に関しましても、高等学校への進学率の上昇とともに、勤労青少年を受け入れる企業が激減し、会の構成メンバーや財政規模の縮小が余儀なくされてきました。事務局の担い手も企業から学校関係者、教頭会へと移ってまいりました。

定時制の生徒は「ダイヤモンドの原石」だと良く評されます。小学校・中学校では輝けなかった者たちが、これまでにない、4年間というゆったりとした教育環境の中で学ぶうちに、急に輝きを増し、素晴らしい人材に育っていくというケースもたくさんございます。

本振興会もそうした者たちの学校生活が少しでも豊かなものになるようにと事業を展開しております。川崎市内高等学校定時制教育は、平成29年に創立70周年を迎えることとなります。そのほとんど50数年にわたって振興会が本市の定時制教育を支えてまいりました。現在では川崎市議会議長に会長を、川崎商工会議所副会長、川崎市工場団体連合会専務理事、川崎市教育委員会教育長などの方々に副会長を当て職としてお願いして会を運営いたしております。先の見えない今日の社会情勢にも関わらず、市内の多くの企業やロータリークラブ様からのご支援をいただき、9月の弁論大会、夏から秋へかけての各種運動競技会、さらに1月のアゼリアギャラリーでの定時制生徒作品展といった事業を展開し、本市における定時制教育の更なる活性化を目指しております。このような今日の定時制教育の置かれる状況をご理解いただき、今後とも会の運営に関しまして、ご支援ご尽力をいただければ幸いに存じます。

川崎総合科学高等学校 定時制 教頭 熊谷頭太郎様

本日は川崎大師ロータリークラブの皆様の貴重なお時間を頂戴し、定時制教育にご理解をいただき機会をくださり誠にありがとうございます。最後までご静聴いただきありがとうございました。

●点 鐘 牛山 裕子会長

日時：平成28年11月12日(土)は
地区大会 移動例会です。
場所：パシフィコ横浜会議センター

※ご注意ください。
11月9日は休会です。

クラブ
委員会

小林 勇次/秦 琢二/沼田 直輝